

# 第 77 回山口県美術展覧会 要項

令和 7 年 2 月 27 日（木）～ 3 月 16 日（日）

山口県立美術館

the 77th Kenbiten



## 1 趣旨

「つくる・みる・ささえる」の創造的調和

制作の創造性を高めること（つくる）のみならず、美術作品を鑑賞すること（みる）や美術文化を支えていくこと（ささえる）もまた優れて創造的な行為であるとの意識を育成できるような、総合的な美術文化の普及と振興をはかります。

### (1) 「つくる」

自由な意識や現代社会に根ざして制作した作品を幅広く募集し、厳正な審査ののち、優秀なものを展示します。

### (2) 「みる」

審査員の視点や考え方を直に体感することのできる公開審査をはじめ、「みる」ことの多様性を体験できるプログラムを開催します。

### (3) 「ささえる」

山口県立美術館や地元商店街が軸となって開催している「HEART（美術館まちなか交流事業）」と連携し、地域を基盤に、芸術支援活動を促進するプログラムを展開します。

## 2 会期および会場など

(1) 会 期：令和 7 年 2 月 27 日（木）～ 3 月 16 日（日）

休館日 3 月 10 日（月）

(2) 会 場：山口県立美術館 〒753-0089 山口市亀山町 3-1 TEL：083-925-7788

(3) 開館時間：9:00～17:00（入場は 16:30 まで）

(4) 観 覧 料：一般 500（400）円 学生 400（300）円

（ ）内は 20 名以上の団体料金

※ 70 歳以上および 18 歳以下の方、中等教育学校、高等学校、特別支援学校に在籍する方等は無料。

※ 障がい者手帳等をご持参の方と、その介護の方 1 名は無料。

### 3 審査について

#### (1) 審査員（50音順）

##### 成相 肇（なりあい・はじめ）

東京国立近代美術館主任研究員、美術批評家。1979年島根県生まれ。一橋大学大学院言語社会研究科修了。美術と雑種的な複製文化を混交させる企画を手がけながら、府中市美術館、東京ステーションギャラリー学芸員を経て2021年より現職。主な企画展に2011年「石子順造的世界 美術発・漫画経由・キッチン行」（第24回倫雅美術奨励賞）、2014年「ディスカバー、ディスカバー・ジャパン「遠く」へ行きたい」、2017年「パロディ、二重の声 日本の1970年代前後左右」、2022年「大竹伸朗展」など。著書に『芸術のわるさ コピー、パロディ、キッチュ、悪』（かたばみ書房、2023年）がある。山口県美展の審査は2回目。

##### 不動 美里（ふどう・みさと）

姫路市立美術館館長。1961年京都府生まれ。大阪大学文学部美学科（美術史専攻）卒業。1985年度スペイン政府給費生としてマドリード・コンプルテンセ大学にて絵画、彫刻デッサンを学ぶ。岐阜県現代陶芸美術館学芸員、金沢21世紀美術館学芸課長を経て、2022年より現職。主な企画展に、2003年「ロシア・アヴァンギャルドの陶芸：モダン・デザインの実験」、2005年「Alternative Paradise～もうひとつの楽園」、2009年「愛についての100の物語」、2010年「Alternative Humanities～新しい精神のかたち：ヤン・ファール×船越桂」、2021年「日本の心象 刀剣、風韻、そして海景」など。共著に『芸術環境を育てるために』（京都造形芸術大学 東北芸術工科大学 出版局 藝術学舎、2020年）がある。山口県美展の審査は2回目。

##### 松井 紫朗（まつい・しろう）

彫刻家、京都市立芸術大学教授。1960年奈良県生まれ。1986年、京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程修了。1983年の初個展以来、木・金属・石などを用いた独自の造形で、「アート・ナウ' 85」展（兵庫県立近代美術館、1985年）に選出されるなど、「関西ニューウェーブ」を担う一人として注目を集める。1990年代からは、シリコンラバーやテント素材を用いた作品や、ナイロン素材の巨大なバルーンを空間に展開させる作品などを発表。JAXA（宇宙航空研究開発機構）との共同研究では、国際宇宙ステーションでの庭作り「宇宙庭」（2009-2010年）や、軌道上の宇宙空間の採取「Message in a Bottle」（2011-2013年）を実施する。2014年からは地上ミッションとして「手に取る宇宙」を各地で開催。文化庁優秀賞（1999年）、宇部市制施行80周年・野外彫刻40周年記念賞（第19回現代日本彫刻展、2001年）などの受賞歴がある。山口県美展の審査は3回目。

#### (2) 審査方法

審査は、作品のジャンルを分けず、以下の3段階で行います。またすべての審査段階を公開します。

- ① 一次審査：入選候補作品を選定
- ② 二次審査：入選作品を選定
- ③ 三次審査：入賞作品を選定

#### (3) 賞

大賞 1名（賞状・賞金50万円・次回県美展での展示空間提供と、展示作品の制作費50万円）  
優秀賞 5名（賞状・賞金5万円）  
佳作賞 （賞状）

### 4 出品について

次項（1）の「出品の条件」を満たし、搬入・展示が可能なものであれば、形式・寸法・重量・材質等は問いません。応募点数に制限はありません。ただし、以下の点については予めご了承ください。

- \* 作品は慎重に取り扱いますが、搬入から搬出までの間における不慮の事故および災害等による作品の破損、亡失等については、責任を負いかねます。
- \* 搬入受付後に作品に変更を加えることは、原則として認められません。
- \* 出品者の責任により美術館の施設に損傷を与えた場合は、原状復帰のための費用を負担していただくことがあります。

#### 《展示された作品の撮影について》

- \* 県美展をより開かれたものとするために、原則として、展示された作品は展覧会入場者によって撮影され、またSNS等に投稿されることを可とします。ただし、これによって問題が生じた場合は、撮影者の責任において対処するものとし主催者は責任を負わないものとします。

## (1) 出品の条件

- ① 作品は、自己の創作したものであること。
- ② 作品は、審査を伴う公募展で展示されていないものであること。
- ③ 作品は、著作権や肖像権、商標権など、他者の権利を侵害しないものであること。
- ④ 作品は、通常の美術館の活動に支障を与えないものであること。  
(危険物、動植物、腐蝕の恐れのあるもの等、展示室の環境に影響を及ぼすものは不可)

## (2) 作品搬入時の留意点

審査の円滑な進行のため、搬入受付時に、事務局で作品を以下の2つのタイプに分類します。

《Aタイプ》：審査に際して、比較的容易に移動が可能な作品

(例：絵画や写真など、主に壁に掛けて展示する作品)

→【繰り出し審査】審査員が着席し、その前に作品を繰り出して審査します。

《Bタイプ》：大きい、重い、割れやすい、など、審査中の移動が難しい作品

(例：陶芸、彫刻、インスタレーション、大部の組作品等)

→【据え置き審査】審査員が移動し、据え置きされた作品を審査します。

## (3) 事前協議

**搬入および審査を滞りなく進行させるため、以下の場合は、事務局と事前の協議が必要です。**

協議の上、必要と判断される場合は、作品設置のためのスペースを用意します。

なお、設置場所の選定等については事務局に一任していただきます。

- ① 《Bタイプ》に該当すると想定されるもののうち
  - ・一辺が3mを越える寸法のもの
  - ・重量が200kg以上のもの
  - ・極端にもろい材質のもの
  - ・作者による展示作業が必要な組作品やインスタレーション
- ② 映像作品など、特別な機器・電源等を要するもの

上記①②に該当する場合は、以下の受付期間内に、山口県立美術館までお越しください。

- ① 日 時：令和6年11月23日(土)～12月1日(日) 9:00～12:00 / 13:00～16:30
- ② 受付場所：山口県立美術館 総合受付(休館日は通用口にお越しください)
- ③ 必要なもの：展示プラン(素材、寸法、展示イメージ図を明記したもの)

## (4) 出品料

1点につき4,000円を、出品目録に添えて、搬入日当日に納入してください(組作品の場合は、1組を1点とみなします)。受付後の出品料の返却には応じられません。

## (5) 作品の搬入

- ① 日 時：令和7年2月7日(金)～2月9日(日) 9:00～12:00 / 13:00～16:00
- ② 受付場所：山口県立美術館 搬入口(山口市役所側の通用門から入り、建物の裏にまわってください)

## (6) 作品の搬出

全ての作品は以下の日程で返却します。なお搬出は、作品預り証と引き替えに行います。

- ① 日 時：令和7年3月21日(金)～3月23日(日) 9:00～12:00 / 13:00～16:00
- ② 受付場所：山口県立美術館 搬入口

## (7) 搬入および搬出の費用

出品者の負担とします。出品者による美術館での搬入出を原則としますが、やむを得ない事情により、事務局手配による返却をご希望の場合、その経費は着払いとします。

※梱包した状態で、3辺[縦×横×高さ]の合計が260cm、総重量50kgを超える作品の返送については、事務局では対応できません。

また、返送にあたっての梱包は、搬入時の資材を再利用して行うこととします。

## 5 審査の公開について

### (1) 審査の傍聴

審査会は公開します。また審査会2日目の審査終了後、傍聴者による審査員への質疑応答等の時間を設けます。傍聴をご希望の方は、必ず事前にお申し込みください。お申し込みがない場合、傍聴できません。

① 日 時：令和7年2月11日（火）9:30～17:00  
2月12日（水）9:30～12:00

② 会 場：山口県立美術館

③ 申込方法：山口県立美術館ホームページ（<https://y-pam.jp>）の申し込みフォーム、FAX、はがきのいずれかでお申し込みください。出品していない方でも、傍聴可能です。

【記入事項】傍聴希望日・住所・氏名・電話番号

【申込期間】令和7年1月6日（月）～令和7年2月9日（日）必着

④ 申し込み・お問い合わせ：〒753-0089 山口市亀山町 3-1 山口県立美術館 県美展事務局  
TEL: 083-925-7788 FAX: 083-925-7790

※ご記入いただいた個人情報は、第77回山口県美術展覧会審査会傍聴に関する業務以外には使用しません。

### (2) 審査結果発表

展覧会の開会に合わせて、山口県立美術館ホームページ、新聞、テレビ、ラジオ等で発表します。出品者には、審査後1週間程度で、郵送にて審査結果を通知します。

## 6 特別展示

前回の大賞受賞者、井岡 義朋氏による新作を展示します。

## 7 ワークショップ「自作を語る」

第77回山口県美術展覧会入選者のうち希望者に、お送りいただいた自作解説文を掲示する形で、ご自身の入選作品について語っていただきます。

## 8 「HEART（美術館まちなか交流事業）」との連携

山口県美術展覧会の歴代受賞者（優秀賞以上）の作品紹介・販売などの事業を、山口県立美術館だけでなく、周辺の地域とともに展開します。



第76回山口県美術展覧会 大賞受賞作品  
井岡 義朋 《鬼哭啾啾》

## 9 主催

山口県

## 10 第77回山口県美術展覧会運営委員（50音順）

岡本 正康	下関市立美術館 館長
金子 司	陶芸家、萩陶芸家協会 理事
倉田 研治	山口県立大学国際文化学部 准教授
中野 良寿	美術家、山口大学教育学部 教授、N3 アートラボ代表
原井 輝明	画家、宇部フロンティア大学短期大学部 准教授
山本 綾香	アスピラート [防府市地域交流センター]
山本 昌克	山口県観光スポーツ文化振興課長
若林 英樹	山口県民文化ホールいわくに シンフォニア岩国 館長

## 11 事務局

山口県美術展覧会実施協議会 〒753-0089 山口市亀山町 3-1 山口県立美術館内  
TEL：083-925-7788 FAX：083-925-7790 E-mail：a19304@pref.yamaguchi.lg.jp  
<https://y-pam.jp>

※郵便によるお問い合わせをご希望の場合は、往復はがきをご使用になるか、返信用封筒を同封してください。

# 第77回山口県美術展覧会出品目録

記号	番号	よみかた	備考 (素材・技法など)
※ A B	※	題名	
ふりがな 氏名 (本名)		連絡先 (住所・ 電話番号)	(〒 - )
生年月日 (西暦)	年 月 日	(Tel.	)
公表用氏名		返却方法	
<input type="checkbox"/> 本名と同じ <input type="checkbox"/> 本名と異なる		下記のいずれかに✓をつけてください。 <input type="checkbox"/> 会場受領 <input type="checkbox"/> 事務局手配による輸送 (料金着払 [3辺合計260 cm, 50 kg以内]) <input type="checkbox"/> ど自分で手配された画材店等による搬出	
※新聞・パンフレット等に公表される際には、右欄に記入されたとおりに記載されます。 ※出品作品が、右欄の条件を満たしていることをご確認のうえ、右上の□に✓をつけてください。		よみかた	受付日
<b>出品の条件</b>		・作品は、自己の創作したものであり、審査を伴う公募展で展示されていない。 ・作品は、著作権や肖像権、商標権など、他者の権利を侵害していない。 ・作品は、通常の美術館の活動に支障を与えないものである。 (危険物、動植物、腐蝕の恐れのあるもの等、展示室の環境に影響を及ぼさない)	※ 2/7 2/8 2/9
《展示された作品の撮影について》 ・原則として、展示作品は入場者によって撮影され、SNS等に投稿されることを可とします。問題がある場合はご相談ください。			

## 作品預り証

様

令和7年2月 日  
山口県美術展覧会実施協議会

※ 受付

※	※
A	B

※ 作品の搬出日時は **3月21日(金)～23日(日) 9:00～12:00、13:00～16:00** です。  
 ※ 必ず、この作品預り証をご持参ください。  
 ※ 搬出日を過ぎてても受け取りに来られない作品については、出品者に断りなく処分させていただく場合があります。

※	※
A	B
題名	
氏名	
住所	

出品部

### 【記入上のお願ひ】

- ※ 本目録は、搬入受付時、出品料を添えて、**作品1点につき1枚**を提出してください。
  - ※ 複数点出品される方は、本目録をコピーしてご使用ください。
  - ※ ペンかボールペンを使い、楷書で、**太枠内のみ**記入してください。
  - ※ のついた項目は**記入しないでください**。
  - ※ 住所は**出品者本人の住所**を記入してください。
  - ※ ご記入いただいた個人情報、本展覧会業務以外には使用しません。
- ↑ 出品票は、**太枠内を記入し、点線に沿って切り取った上で、出品する作品に、はがれないように貼ってください。**  
 (平面作品は裏面右上、それ以外は右下もしくは底部)  
 ※ **出品票が貼られていない場合、出品を受け付けられません。**